

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

鳥獣被害が拡大

経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、決算案件6件、事件案件1件、予算案件5件で、慎重審査の結果すべて原案のとおり認定又は可決すべきものと決しました。

平成22年度一般会計決算については、委員より、有害鳥獣被害の

拡大に関連して、狩猟免許の所持状況と今後の対策についての質問に対し、平成23年3月現在、狩猟免許所持者は98名、その内、農免許は13名で、今後の対策としては個体調整には限りがあり、防護策や餌となる残飯等を放置しないなど、地域ぐるみによる防御を進める必要があるとの答弁がありました。

中心市街地活性化事業の空き店舗の調査結果では、塩尻駅から商店街にかけて20軒の空き店舗があり、使用可能な店舗は約10軒と聞くと、活性化の方策を問う質問に、新しいまちづくり会社が主体となって店舗の再生を行う計画で、市は、まちづくりコーディネーター業務を委託する予定であるとの答弁でありました。



鳥獣被害防止のための防護柵

公民館分館の耐震補助を可決

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された、平成22年度塩尻市一般会計決算・23年度補正予算など8件の議案及び請願2件陳情1件について、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり認定・可決・同意・採択すべきものと決しました。

社会福祉センター重



介護予防教室「いきいき貯筋倶楽部」

油流出対策に対して、指定管理者の社協から費用負担はあったのかとの問いに対し、費用負担はないが23年度から市の直営となり、社協から職員1名を派遣し姿勢を示しているとの答弁がありました。

平成23年度補正予算では、公共施設等建設事業補助金を各区公民館分館改修の補助金として、桔梗ヶ原公民館の耐

震診断を実施し、平出公民館と桔梗ヶ原公民館をそれぞれ限度額530万円の補助で耐震補強工事を行い、安全対策を強化したいとの説明を受けました。

少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書他2件の意見書を国等へあげることにしました。

より慎重な財政運営を

総務環境委員会

当委員会に付託された議案は、平成22年度一般会計歳入歳出決算認定のうち歳入全般と総務部、協働企画部、市民環境事業部などが所管する部分についてと、国民健康保険事業など5つの特別会計、市税条例などの条例案件2件、23年度一般会

計補正予算など予算案件3件の計11件。すべて原案どおり認定及び可決すべきものと決しました。

焦点の22年度一般会計決算は、歳入が298億円に対し歳出が291億円、実質収支で6億円余の黒字となっています。

本市の財政については普通会計で見た財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、87.1%



委員会審査風景

で前年度より3.1%改善していますが、この要因は、個人市民税など市民税収入は減ったものの、普通交付税と臨時財政対策債などの市債が大幅に増額となったことが主な理由です。自主財源比率は3年前まで50%を超えていましたが、22年度は43%と落ち込みました。より慎重な財政運営が求められます。